【DX 推進への取り組み】

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術やデータを用いて、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革していくことです。 生産性の低さが課題となる業界において、DX を促進することは競争力の強化に直結します。また、弊社ではデジタル技術やデータの活用という方法論的な側面はもちろんですが、デジタルやデータを念頭において経営するという意識改革も DX の範疇であると考えております。

そこで、弊社ではITツールや社内業務のシステム化を通して、従業員にDXの意識を芽生えさせるとともに、生産性の向上を目指しています。

【経営ビジョン】

弊社では従業員一人一人が DX の意識を持てるようにするため、販売方法、及び予約、事務プロセスをデジタル化することを DX のビジョンとして掲げております。事業活動に関わる作業をデジタル化することで、生産性を高め、高付加価値な事業の構築を目指しております。

【DX 推進戦略】

販売面の DX について、下記の通り DX 推進戦略を定め、デジタル技術やデータの活用を進めております。

- ・来店予約などの行程をデジタル化してより効率的かつ利便性の高い販売戦略を策定する。また、集客などにおける DX については、下記の通り戦略を定めております。
- ・コミュニケーションツール等の導入により、コミュニケーションをスムーズかつ正確に行う。
- ・ITツールを用いた集客体制により、機会損失を減らす。

【DX 推進体制】

2024年より現代表の小柴大樹を(最高情報責任者)とし、DX 推進戦略を実行するための体制を構築しております。

